

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム 「自動車部会」レポート

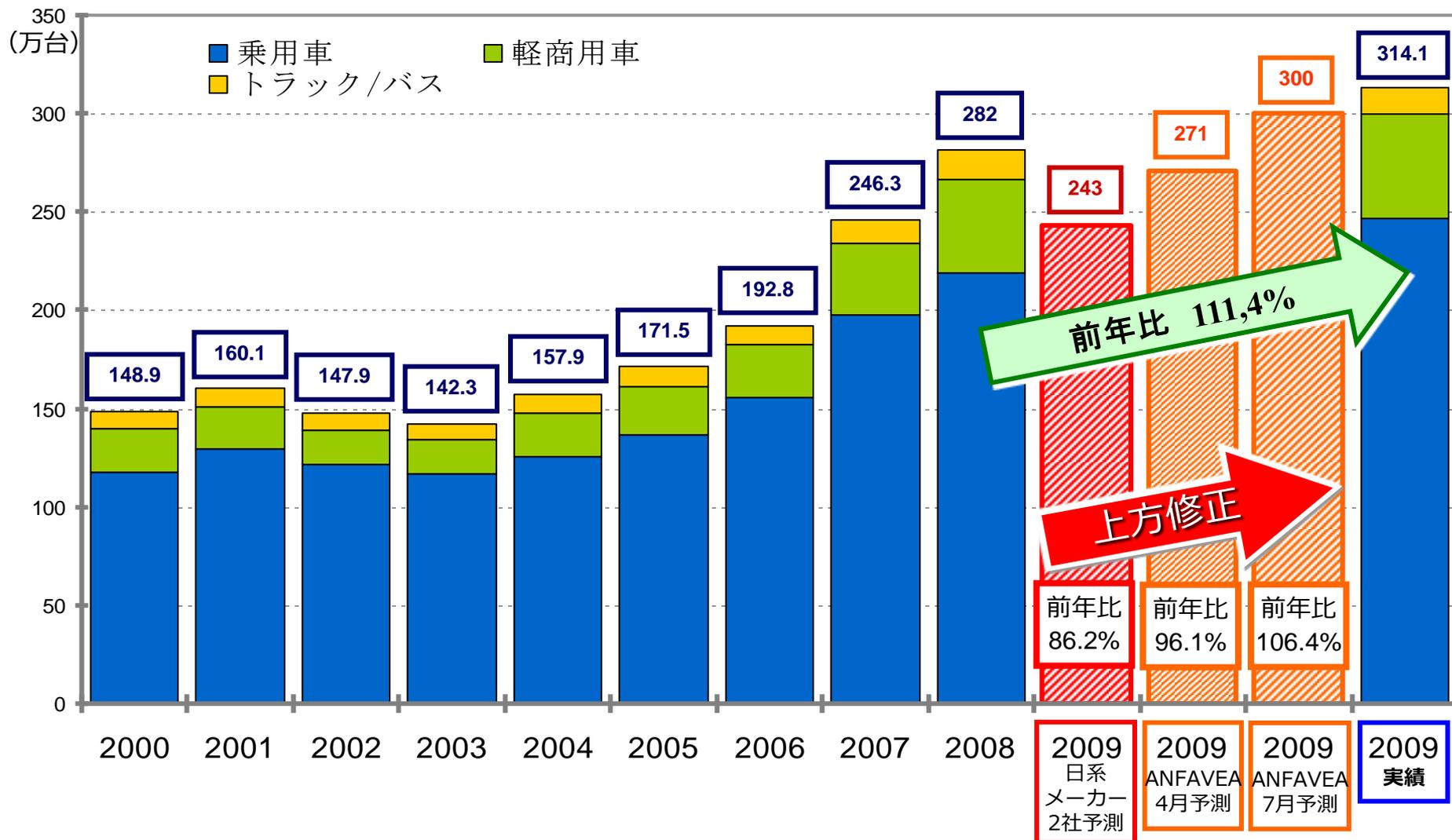
2009年レビューと2010年の展

- 1) 四輪車 ・ 販売^望状況
・ 生産/輸出状況
- 2) 二輪車 ・ 販売状況
・ 生産/輸出状況
- 3) 部品業界
- 4) 業種別部会コメント

四輪業界動向

四輪車販売台数の推移

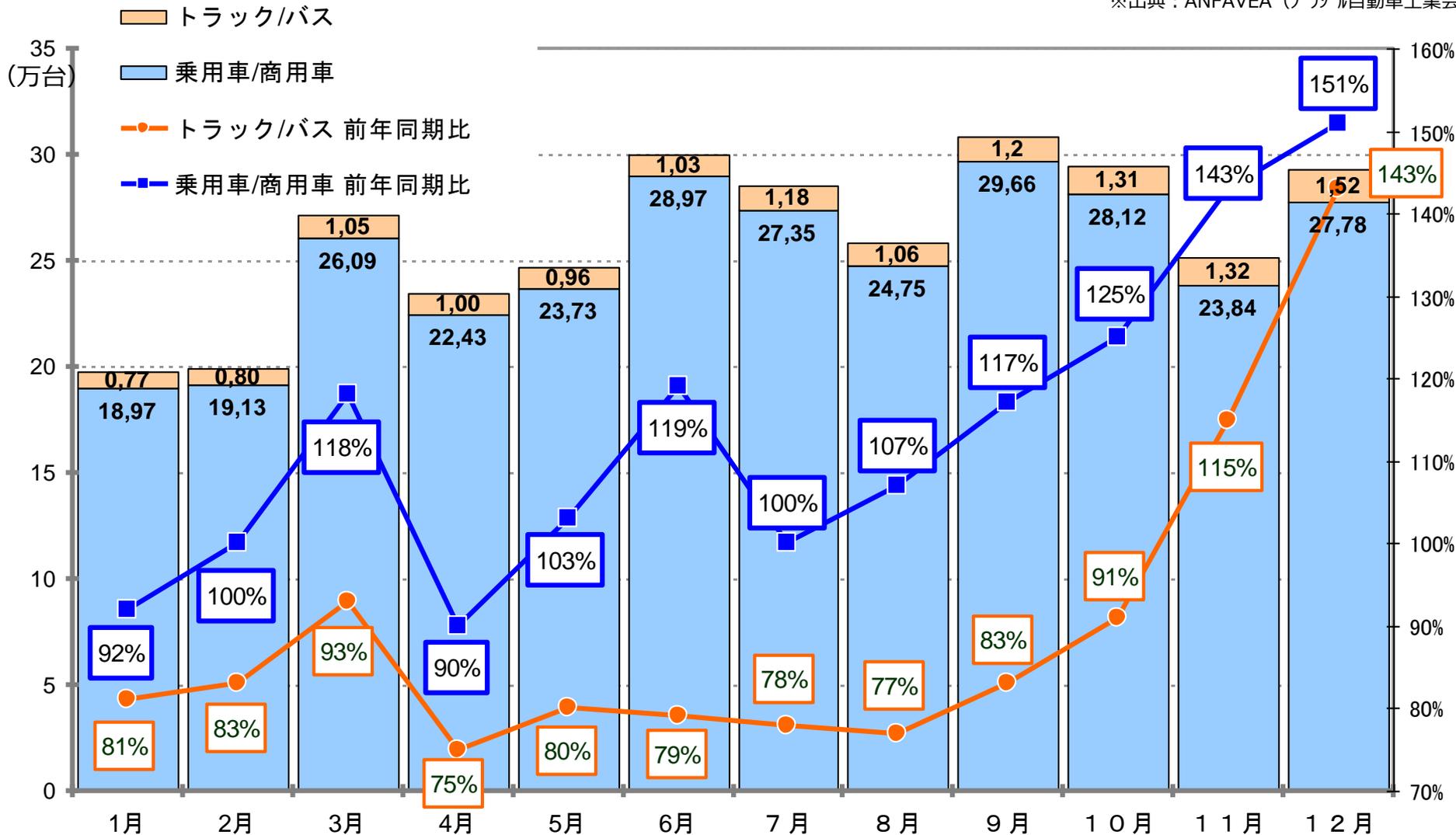
※出典：ANFAVEA（アソシエイト自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計



IPI減税、国内経済の回復により、当初予測を大きく上回る過去最高の販売を記録。

09年 販売台数の推移

※出典：ANFAVEA（アソシエイト自動車工業会）



1月・4月を除き、前年同期比増を記録。また3月、6月、9月はIPI減税率変更の駆け込み需要で大幅な販売増を記録。

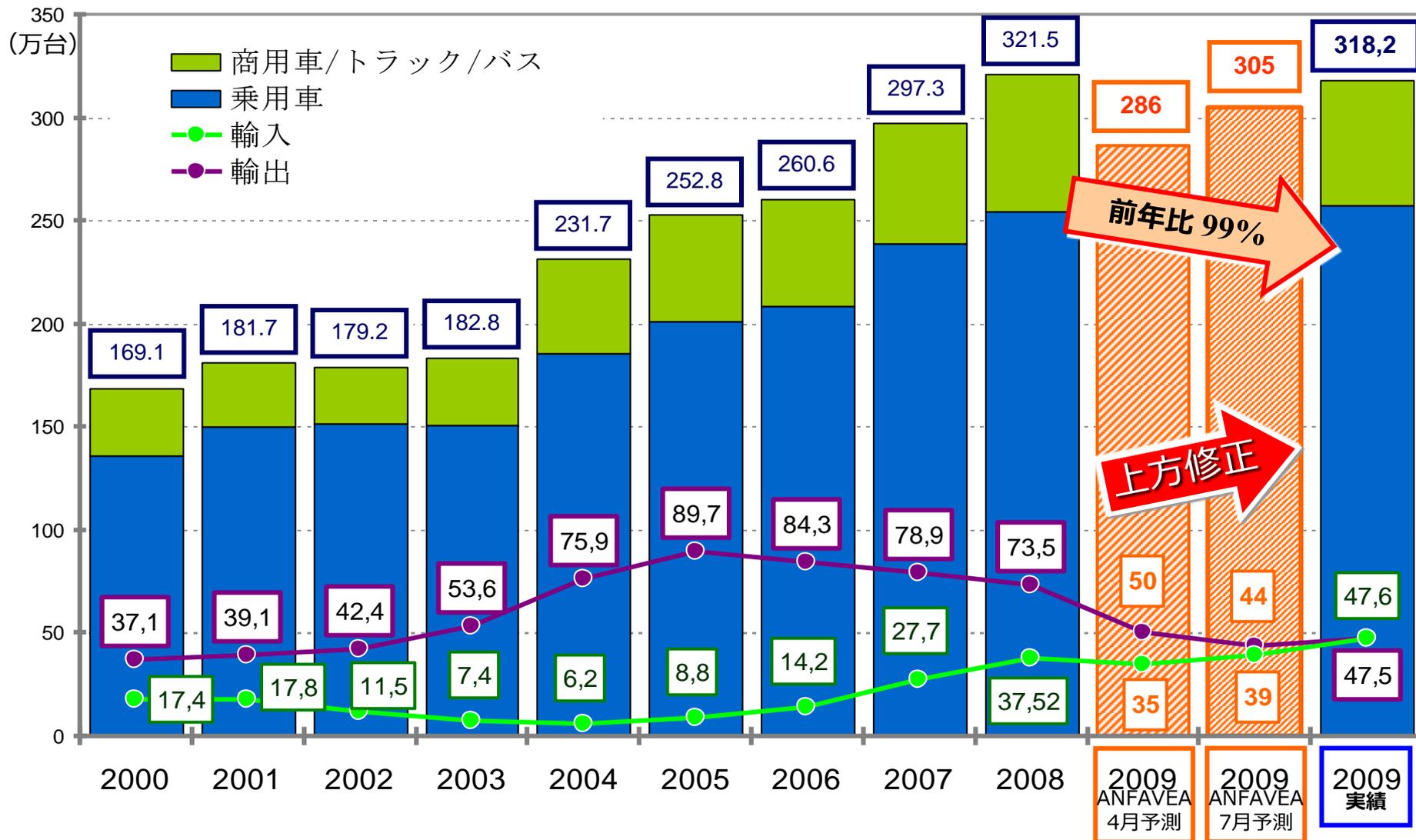
種類	CC	燃料	標準 IPI 税率	09年9月 30日まで	09年10月 31日まで	09年11月 30日まで	09年12月 31日まで	10年1月 1日から	10年3月 31日まで	10年4月 1日から	10年7月 1日から
乗用車 9人乗り まで	≤ 1.0 l.	FLEX	7%	0%	1,5%	3%	3%		7%		
		GAS					5%	7%			
	1.0 ≤ 2.0 l.	FLEX	11%	5,5%	6,5%	7,5%	7,5%		11%		
		GAS	13%	6,5%	8%	9,5%	11%	13%			
	> 2.0 l.	FLEX	18%								
		GAS	25%								
軽商用 車	-	ANY	8%	1%			4%			?	
トラック バス	-	ANY	5%	0%						?	

(Table simplified)

2 L以下のFLEX車は本年3月末、軽商用車は6月末まで減税を延長。

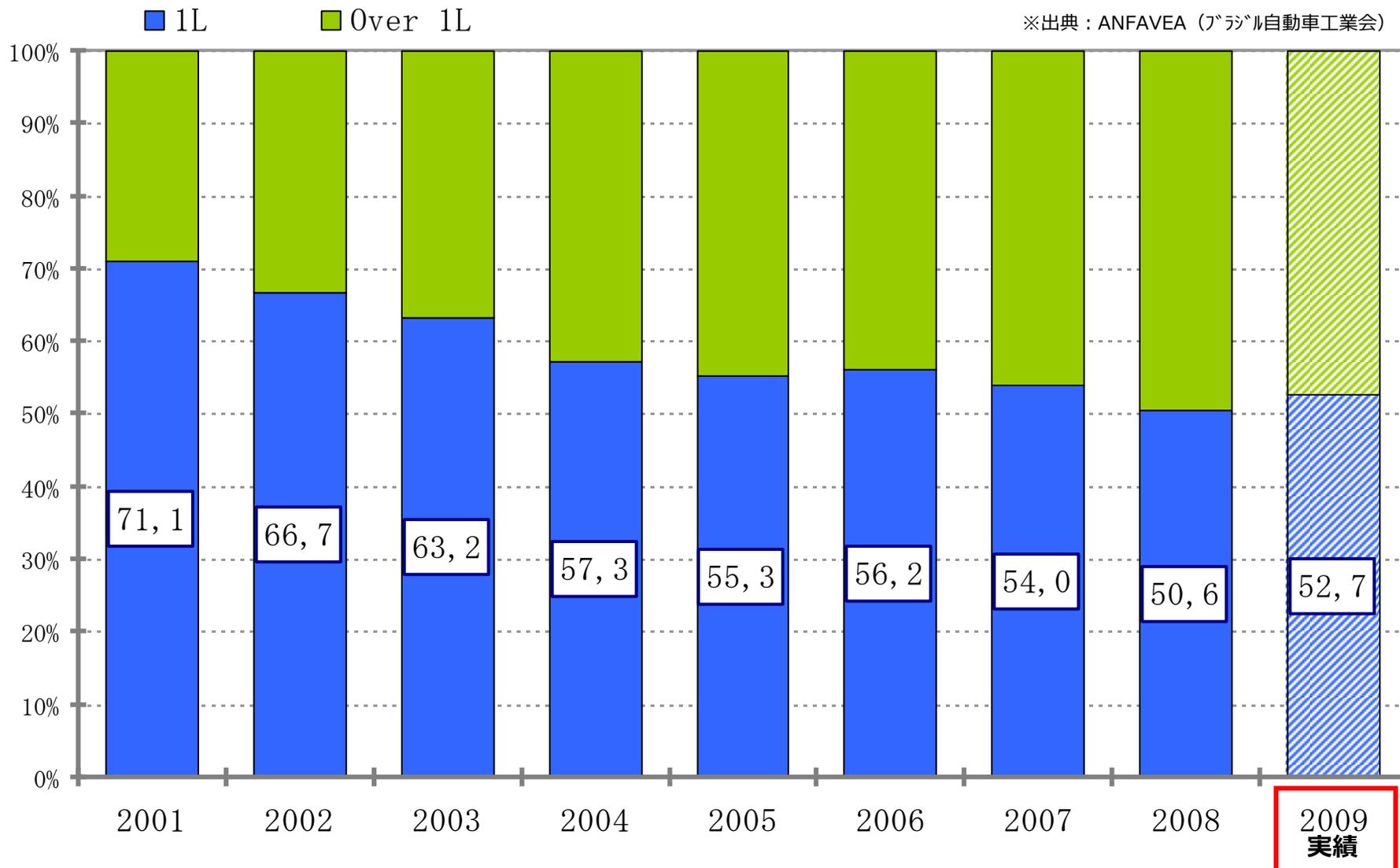
四輪車の生産／輸出入台数の推移

※出典：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会）



当初予測より大幅に増加するものの、輸出の大幅減少にて昨年より微減。

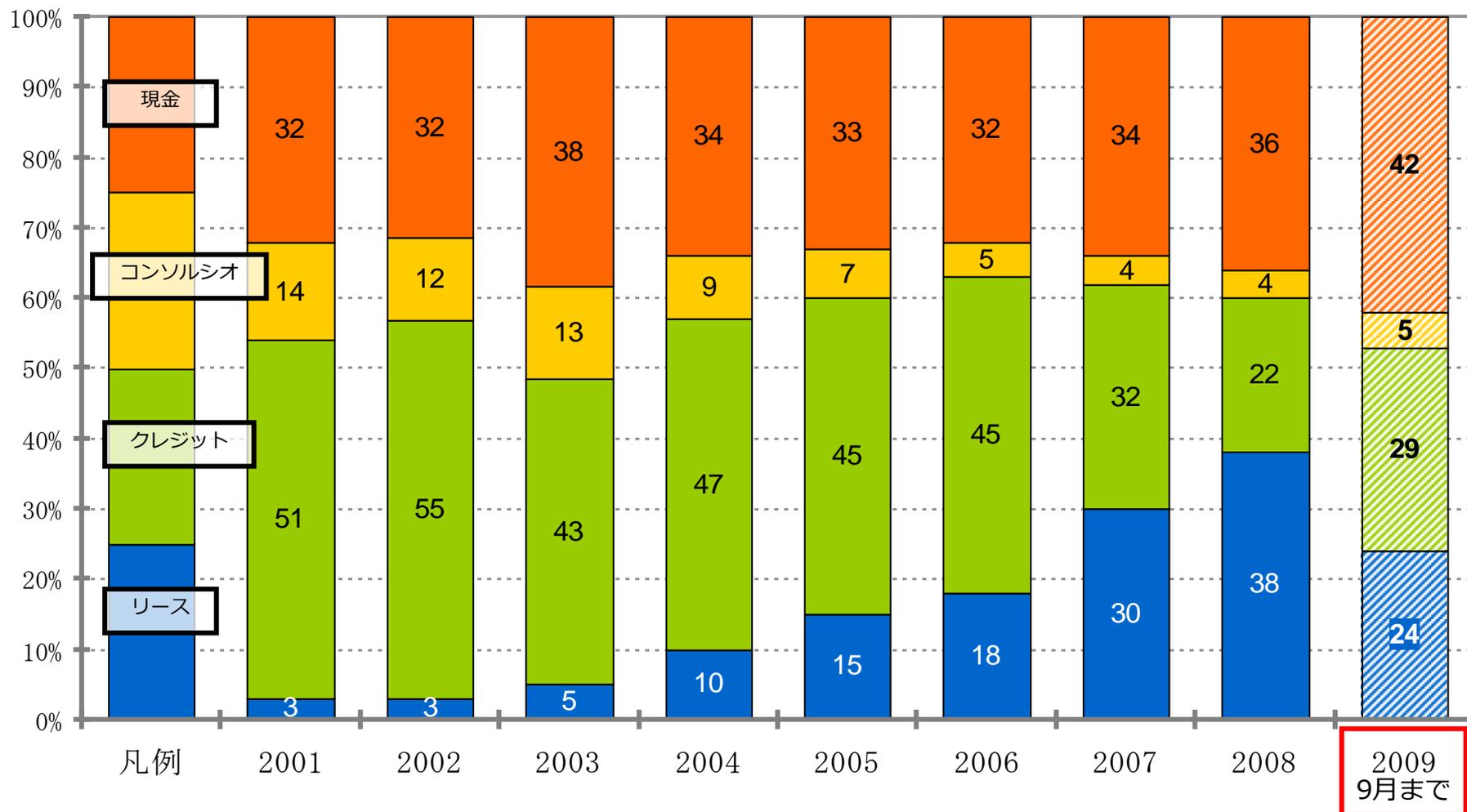
1 L車の販売比率推移



1 L車比率は0 1年をピークに減少していたが、IPI減税によりやや比率は増加。

四輪車 支払い形態

※出典: ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)
乗用車+計商用車の実績
大型トラック、バスは含まない



与信の条件の厳格化により現金顧客が増加。金融取引税率変更によりリースが減少。

四輪小売販売・在庫状況



	2008	2009	前年比
国産車	2,445,200	2,652,366	108,5%
輸入車	375,150	488,874	130,3%
国内小売総計	2,820,350	3,141,240	111,4%

ANFAVEAブラジル自動車工業会データ

09年末在庫	台数	日数	08年末在庫 日数
メーカー	48,591	6	13
販売店	196,662	20	23
総計	245,253	26	36

輸入車が大幅に増加（前年比130%）。

	2007	2008	2009
輸入台数	260,565	371,304	476,301
1位	50,789 	68,222 	69,985 
2位	46,826 	48,466 	60,358 
3位	38,745 	42,126 	59,728 
	15,935 (6位)	32,511 (4位)	

HYUNDAIの輸入が急速に伸長。

 ANFAVEA	2009年実績	2010年予測	前年比 2010/2009
国内市場 (万台)	314,1	340	108,2%
輸出台数 (万台)	47,5	53	111,5%
生産台数 (万台)	318,3	339	106,5%

ANFAVEAは過去最高の340万台の販売を予測。

四輪メーカーの投資計画

メーカー	生産拡張計画 (万台)		投資計画
	2009年	2013年まで	
	90.5	110	US\$ 1.6 billions ①トラック工場拡張(2010年): 5,5万台→7万台 ②乗用車工場拡張(2011年): 85万台→103万台
	75	100	US\$ 2.5 billions ①乗用車工場拡張(2011年): 75万台→100万台
	66	81	US\$ 1 billion: ① Gravatai-RS 乗用車工場拡張(2010年): 66万台→81万台 ② 2車種の新型を導入
	45	65	US\$ 2 billion ①工場拡張: 45万台→65万台
	25	未定	① 3年間に US\$ 500 million の投資 ②2011年にSUV(Duster)を生産開始
	6.5	+15	2011年以後Sorocaba新工場にて小型車の生産開始

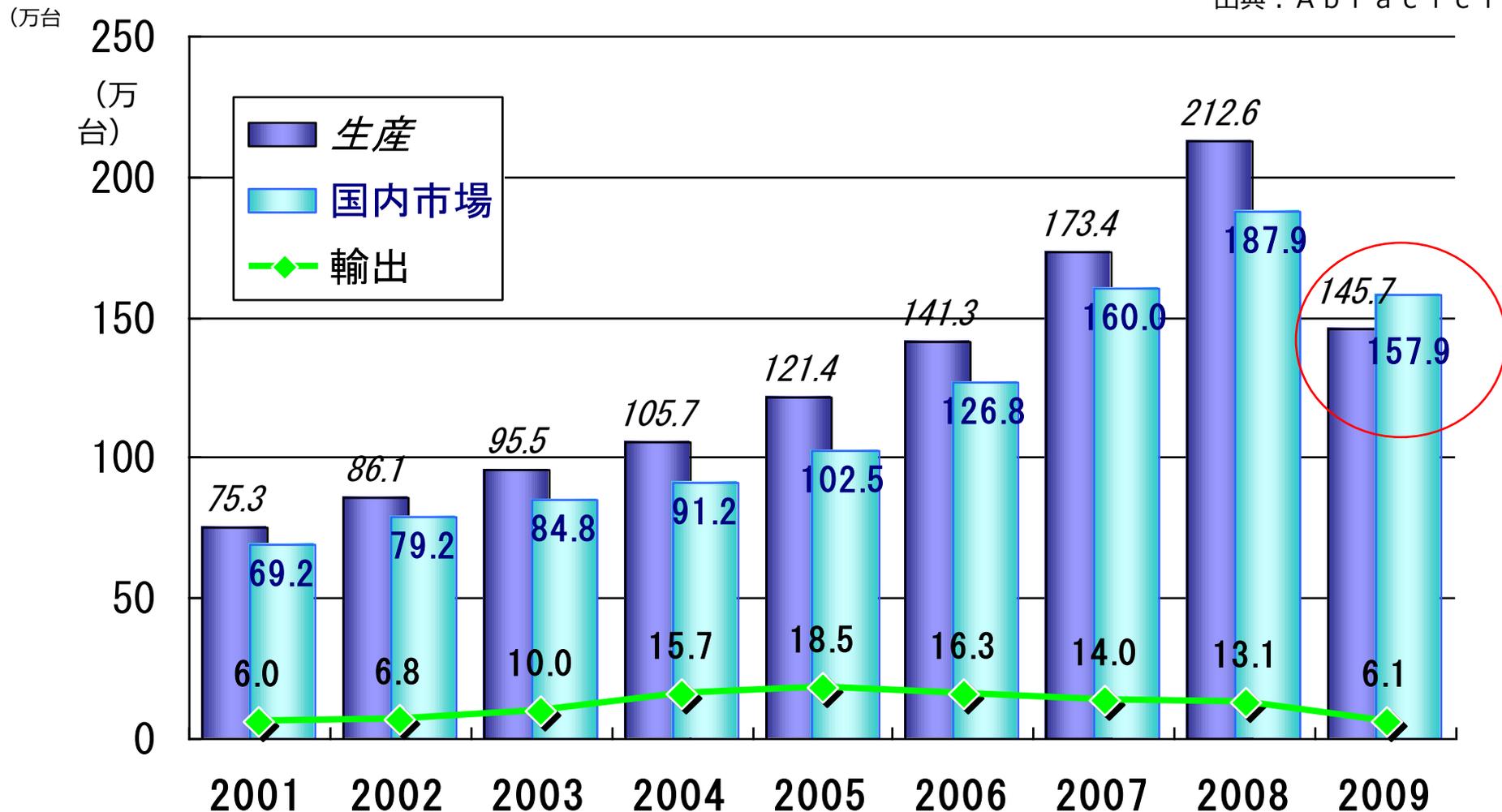
	0.2	+15	US\$ 200 million ① Anápolis-GO 工場拡張 (2009年) US\$ 550 million ② 2012年以後Piracicaba新工場にてTucsonの生産開始
	—	未定	① 営業インフラ設定 (2009年) → US\$ 32 million ②新工場 (2011年) → US\$ 700 million

各社とも積極的な投資を計画。

二輪業界動向

二輪車 生産と販売推移

出典：Abraciclo



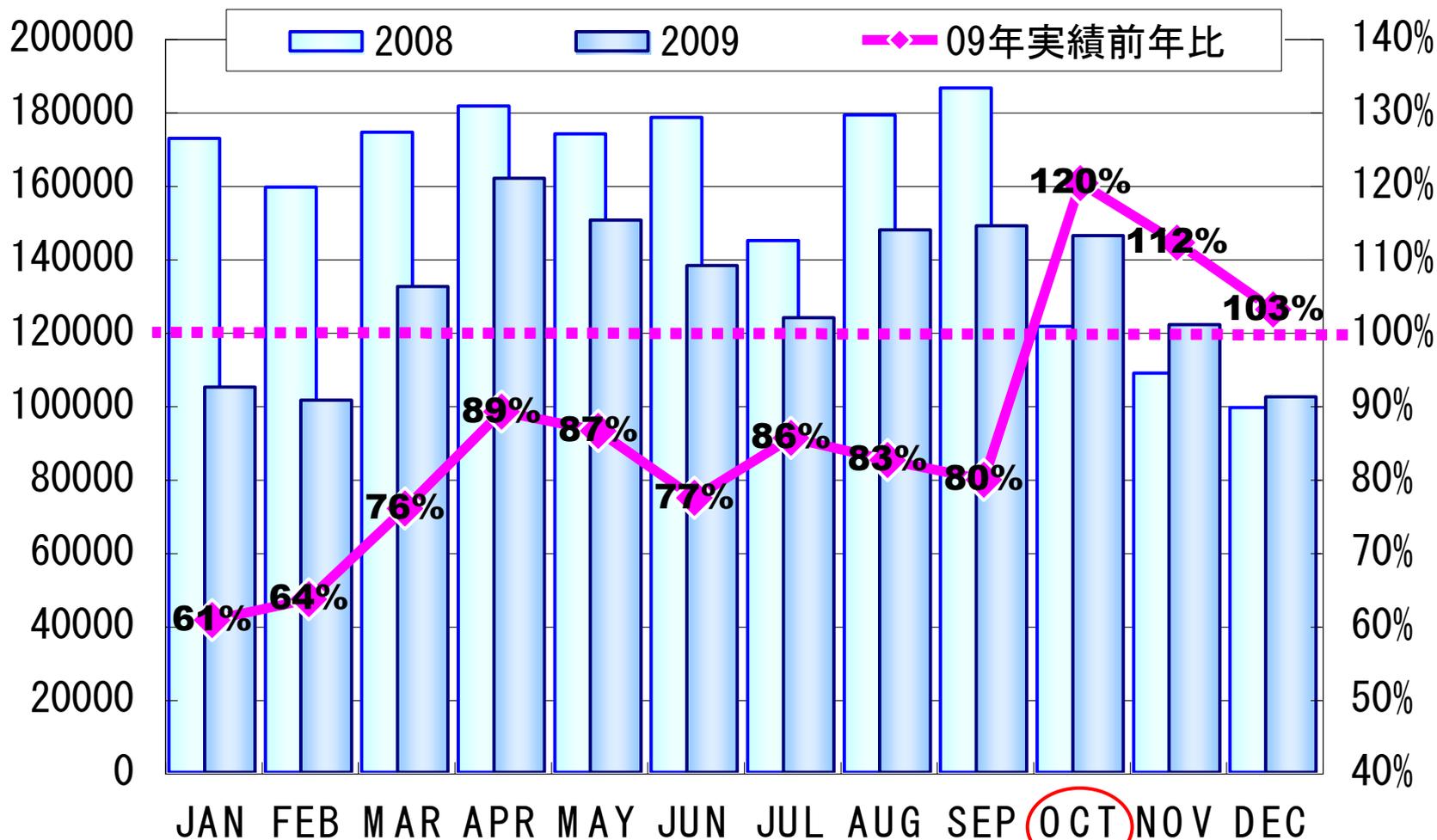
二輪市場157.9万台（前年比 84.0%）、生産145.7万台（前年比 68.5%）

四輪と異なり、市場は減速。生産・在庫調整局面となり

輸出も61千台（前年比 46.6%）と半減。輸出先の市場低迷が影響。

二輪車 月別販売推移 (2008年2009年)

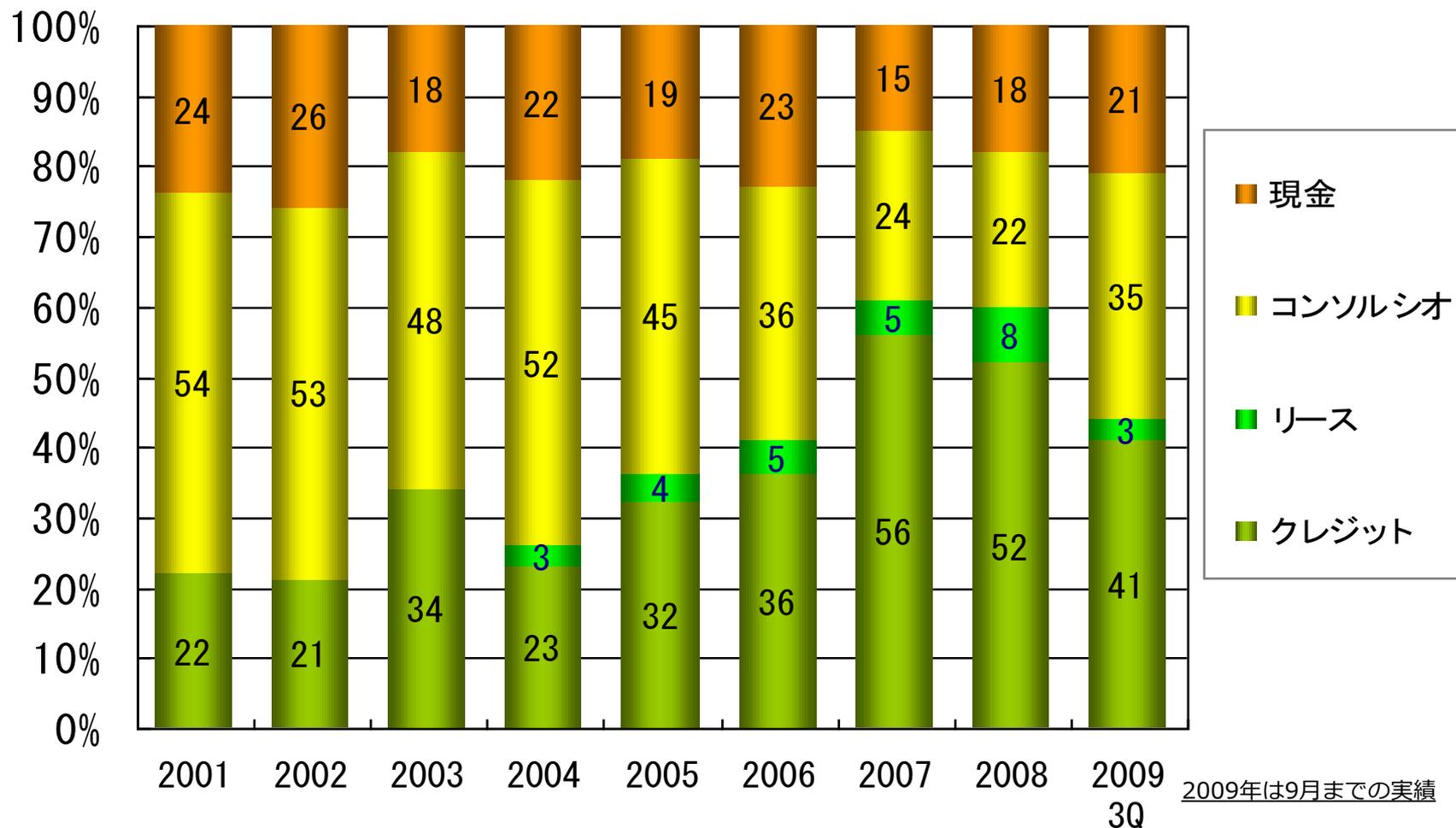
出典：Abraciclo



金融危機により08年10月から販売は急減速。1年を経て、09年10月より前年実績を超過する販売水準を取り戻すも、未だ本格的な回復には至らず。

二輪車 支払い形態別販売比率推移

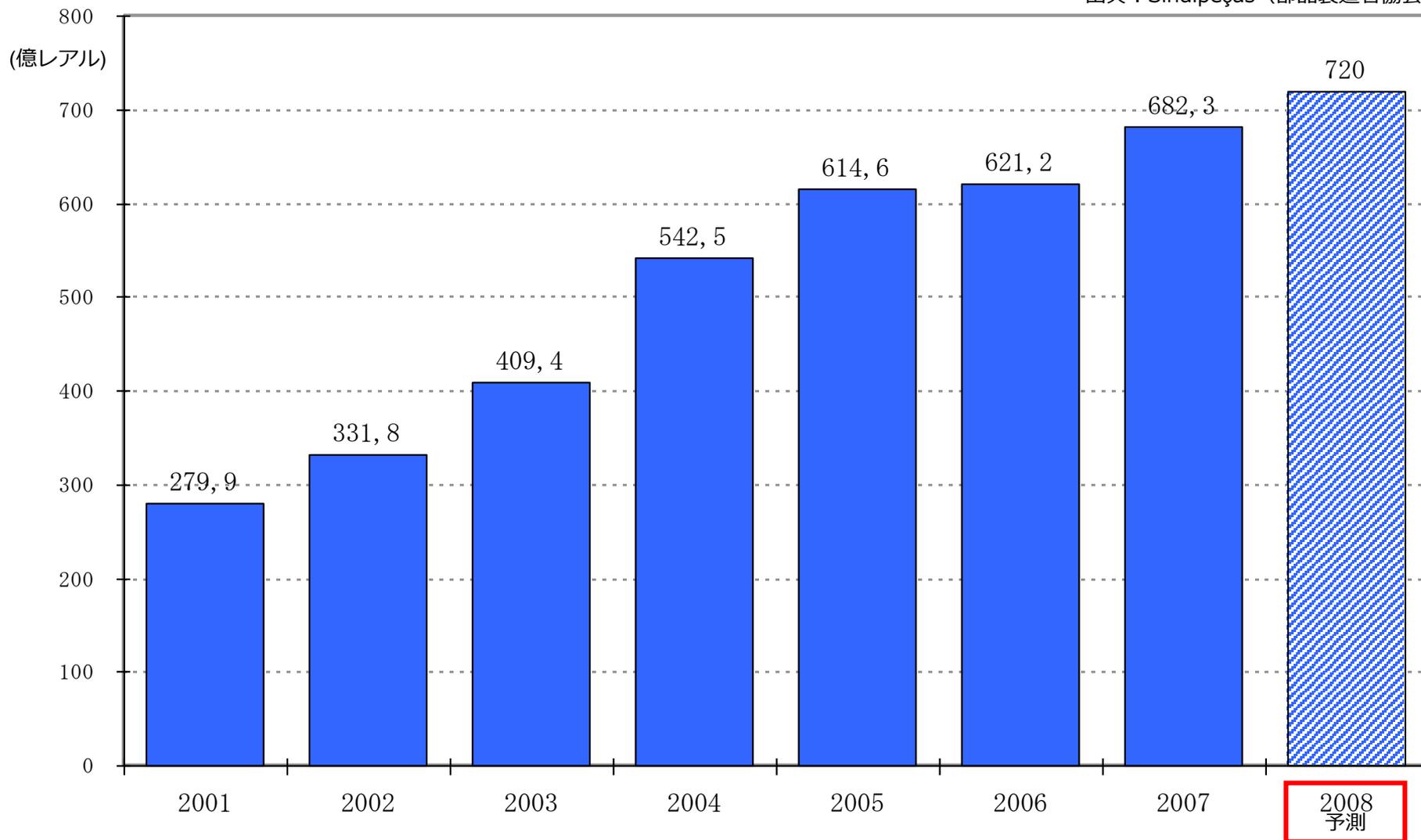
※出典：ANEF（自動車メーカー系金融会社協会）



07年まではクレジット活用比率の増大により販売を拡大してきたが、08年9月末以降は与信（審査）引締めによりクレジットが減少。
金利や融資環境は好転するも、厳しい与信審査基準は継続。

部品業界動向

出典：Sindipeças（部品製造者協会）



生産台数拡大により、08年は売上げ増を予測。

業種別部会コメント

自動車部会のブラジル経済の認識

Q: ブラジルの景気回復は本物か？死角は？大統領・知事選挙の影響は？

1) ブラジル経済の動向

手堅い国内需要に支えられ今後も順調に伸長すると予測

2) ブラジル経済に影響を及ぼす可能性

不安要素はあるものの、ブラジル経済に大きなインパクトを与える可能性は低いと推察

<マクロ>

①世界経済の動向

- ・アメリカ経済の回復度合い
- ・中国のバブル経済の破綻

②為替の動向

③まだ表に出てきていない隠れた問題（例：ドバイの経済危機）

<自動車業界の抱えるリスク>

①IPI減税終了後の市場の落ち込み

3) 選挙の影響

特に考えられない

I. 概要

移転価格税制の変更について

2009年12月29日、ブラジル政府は大統領権限により、移転価格税制に変更を加える暫定措置令(Medida Provisória)を發布。国会会期中の120日以内に、両議会の単純多数による可決承認を得られれば、正式な法として成立する(2010年1月1日付発効)。120日が過ぎた場合、また120日以内に議会より否決された場合は、法としての効力を失う。

II. 変更内容

大項目	小項目	従来	変更後
輸入取引の基準価格算定法			
再販売価格基準法の統一	商品(製造工程を経ない)の基準価格算定法とみなし利益	算定法: PRL20法 みなし利益: 販売価格の20%	算定法: PVL法 みなし利益: [販売価格×輸入比率]の35% 輸入比率=輸入原価÷総原価 輸入原価: 輸入者施設までのLanded原価
	製品(製造工程を含む)の基準価格算定法とみなし利益、輸入原価	算定法: PRL60法 みなし利益: [販売価格-LVA]の60% 輸入原価: CIF+関税	
	基準価格の計算単位	製品別(加重平均)	製品別販売目的別(加重平均)
独立価格比準(CIP)法の一部変更	第3者からの輸入価格を自社の輸入価格の妥当性の比較に使用する場合の条件	なし	当該輸入取引が輸入総額の10%以上でなければならない
基準価格算定法の申告		細則(Instrução Normativa)に記載 ・所得税申告と同時に申告 ・申告は製品別	暫定措置令(法)に明記 ・所得税申告と同時に申告 ・申告は製品別 ・税務調査開始後の算定方法変更は不可
財務大臣権限	マージン(みなし利益)の変更権	細則(Instrução Normativa)に記載	暫定措置令(法)に明記 ・業種毎の変更を今回明記

了